新宮山彦ぐるーぷ第２３８４回

台風襲来予報のため行仙宿巡回と対応

◇実施日　９月２日（火）　小雨
◇参加者　沖﨑吉信、湯川一郎　２名

九州沖の熱帯低気圧が台風１５号となり、久々に紀伊半島直撃のコースとなっている。大型でもなく足も早そうであるが、やはり心配である。そんな中、湯川君から行仙宿の雨戸を閉めておきたいので、明日行こうという提案があった。行仙宿行きを決めるが明日もかなりの雨量が予想されるので、途中から引き返すことも考慮した。

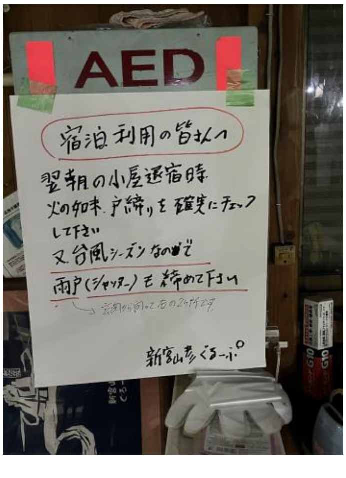
朝、出発時は小雨で午前中はその影響は少ないようで、９時前に出発する。道中も小雨で予定通り１０時半頃登山口に着く。モノレールに乗り、登山口とコマツハウスの対策は後回しにして小屋へ直行、佐田の辻手前まで来て小屋を見上げると、どうも窓１枚が閉められていないようだ。

その後、湯川君から管理棟は4箇所の窓が閉められていないと聞く。まずは小屋及び管理棟の回りと佐田の辻付近の対策を行い、窓と雨戸を閉めた。宿泊者に対しても「台風シーズン中、退宿時には雨戸を締めて下さい」と紙に書いて室内に貼った。

モノレール終点に戻り、コマツハウス内も対策し、登山口に戻った。ここでもモノレールカバーや屋根のシート、デポしている丸太などの対策も行った。二人で行って良かったなあと話をするも、登山者が窓を閉め忘れることはたまにあるが、管理棟は会員が忘れたのであり、あってはならないことだ。火の始末と併せ、退宿時の確認の徹底が必要だ。

（記：沖﨑）

管理棟（南側）の窓



貼り紙（宿泊利用の皆さんへ）

行動タイム

補給路登山口 10：36→11：04 行仙宿 12：00→12：18 補給路登山口